

期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成29年 3 月31日

香川県人事委員会委員長 東 条 正 幸

### 香川県人事委員会規則第3号

期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則

期末手当及び勤勉手当に関する規則（昭和38年香川県人事委員会規則第20号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>(勤勉手当の成績率)</p> <p>第14条 略</p> <p>(1) 勤務成績が特に優秀な職員 <u>100分の105以上100分の170以下</u>（第5条の2に規定する管理又は監督の地位にある職員（以下「特定管理職員」という。）にあつては、<u>100分の131以上100分の210以下</u>）</p> <p>(2) 勤務成績が優秀な職員 <u>100分の93.5以上100分の105未満</u>（特定管理職員にあつては、<u>100分の116.5以上100分の131未満</u>）</p> <p>(3) 勤務成績が良好な職員 <u>100分の82</u>（特定管理職員にあつては、<u>100分の102</u>）</p> <p>(4) 勤務成績が良好でない職員 <u>100分の82未満</u>（特定管理職員にあつては、<u>100分の102未満</u>）</p> <p>2 略</p> <p>第15条 略</p> <p>(1) 勤務成績が優秀な職員 <u>100分の40超</u>（特定管理職員にあつては、</p>	<p>(勤勉手当の成績率)</p> <p>第14条 給与条例第4条第12項に規定する再任用職員（以下「再任用職員」という。）以外の職員の成績率は、当該職員の職務について監督する地位にある者による勤務成績の証明に基づき、当該職員が次の各号に掲げる職員の区分のいずれに該当するかに応じ、当該各号に定める割合の範囲内において、任命権者が定めるものとする。ただし、任命権者は、その所属の給与条例第14条の8第1項の職員が著しく少数であること等の事情により、第1号及び第2号に定める成績率によることが著しく困難であると認める場合には、あらかじめ人事委員会と協議して、別段の取扱いをすることができる。</p> <p>(1) 勤務成績が特に優秀な職員 <u>100分の112以上100分の180以下</u>（第5条の2に規定する管理又は監督の地位にある職員（以下「特定管理職員」という。）にあつては、<u>100分の138以上100分の220以下</u>）</p> <p>(2) 勤務成績が優秀な職員 <u>100分の99.5以上100分の112未満</u>（特定管理職員にあつては、<u>100分の122.5以上100分の138未満</u>）</p> <p>(3) 勤務成績が良好な職員 <u>100分の87</u>（特定管理職員にあつては、<u>100分の107</u>）</p> <p>(4) 勤務成績が良好でない職員 <u>100分の87未満</u>（特定管理職員にあつては、<u>100分の107未満</u>）</p> <p>2 略</p> <p>第15条 再任用職員の成績率は、当該職員の職務について監督する地位にある者による勤務成績の証明に基づき、当該職員が次の各号に掲げる職員の区分のいずれに該当するかに応じ、当該各号に定める割合の範囲内において、任命権者が定めるものとする。</p> <p>(1) 勤務成績が優秀な職員 <u>100分の42.5超</u>（特定管理職員にあつては、</p>

100分の50超)

(2) 勤務成績が良好な職員 100分の40 (特定管理職員にあつては、100分の50)

(3) 勤務成績が良好でない職員 100分の40未満 (特定管理職員にあつては、100分の50未満)

2 略

別表第1 (第5条の2、第5条の4関係)

職	割合
略	
略 本部部長 ※統括参事官 ※参事官 略	略
略 教育次長 統括参事官 参事官 略	略
略	

100分の52.5超)

(2) 勤務成績が良好な職員 100分の42.5 (特定管理職員にあつては、100分の52.5)

(3) 勤務成績が良好でない職員 100分の42.5未満 (特定管理職員にあつては、100分の52.5未満)

2 略

別表第1 (第5条の2、第5条の4関係)

職	割合
略	
略 本部部長  ※参事官 略	100分の15
略 教育次長  参事官 略	100分の10
略	

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。